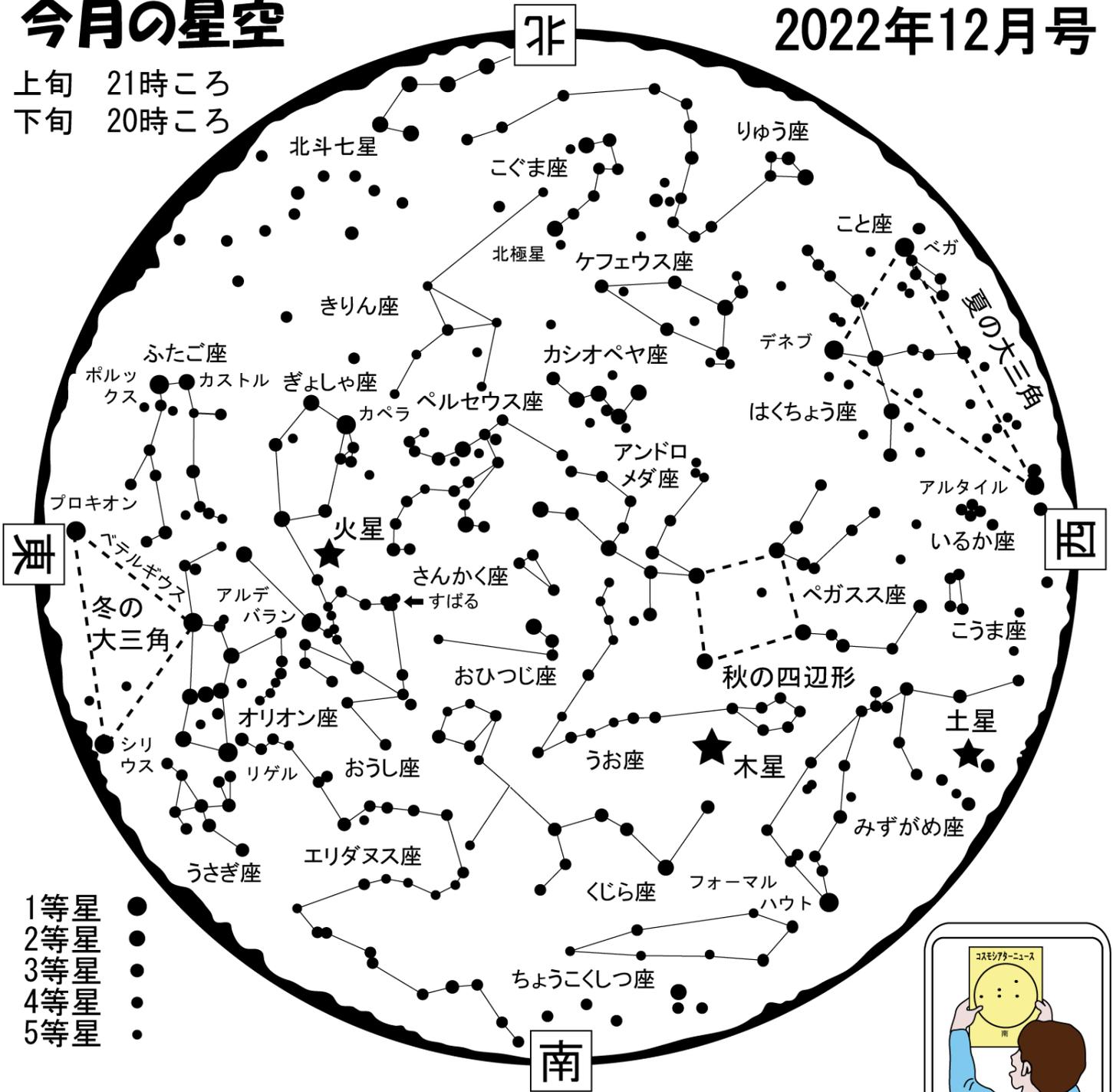


コスモシアターニュース

今月の星空

2022年12月号

上旬 21時ころ
下旬 20時ころ



水星：下旬の夕方、南西の低い空に見えます。明るさは0〜1等星です。
 金星：下旬以降の夕方、南西の低い空に見えます。明るさは-4等星です。
 火星：空が暗くなるころ東の空に見え、ほぼ一晩中見えます。明るさは-1.5〜2等星です。
 木星：夕方南西の空に見え、真夜中ころに沈みます。明るさは-2.5等星です。
 土星：夕方南西の空に輝き、21時〜22時ころに沈みます。明るさは0.5等星です。

今月の月の満ち欠け

満月：8日(木) 下弦：16日(金) 新月：23日(金) 上弦：30日(金)

自分の向いている方向を下にして、見てください

1日(木)、火星が地球に最接近

地球のすぐ外側を回る惑星・火星が、1日(木)に約2年2ヶ月ぶりに接近し、来年1月ころまで観測の好期となります。

火星が見えるのは、夕方は東の空、真夜中になると南の高い空へ移動します。火星がある辺りは明るい星が多いのですが、この中でいちばん明るいので、すぐ見つかるでしょう。見つけ方のポイントは、火星は明るくオレンジ色に輝いていることです。

火星は、肉眼で、ただの明るい星にしか見えません。しかし、天体望遠鏡を使うと、模様が見えます。右の図は、1日ころの火星の様子です。実際は、このように模様ははっきり見えませんが、注意深く見ると、表面の模様の濃淡が分かってくるでしょう。コスモシアターでは、12月から2月の観望会で火星を見る観望会を計画しています。興味のある方は、電話で予約の上、ぜひご参加ください。なお、先着50名程度ですので、お早めをお願いいたします。



2日(金)、宵の南の空で、月と木星が並んで輝く

2日(金)の19時ころ、南の空にはほぼ半分に欠けた月が明るく輝いています。そして、月のすぐ右に並んで、大変明るい星が見えます。この星が木星です。木星は、夜見える星のなかで一番明るいので、大変目につくでしょう。なお、時間がたつと少しずつ低くなりますので、見ごろは20時ころまでになります。

8日(木)、宵の東の空で、月と火星が並んで輝く

8日(木)の18時ころ、満月に近い明るい月が東の空に昇ってきます。そして、オレンジ色の星が、月のすぐ右上に並んで昇ってきます。この星が火星です。火星は、-2等星でかなり明るいので、肉眼でもよく見えるでしょう。なお、火星の右側にもオレンジ色の星があります。これは、おうし座のアルデバランです。火星より少し暗いのですが、肉眼でもよく見えます。また、火星の左上に見える明るい星は、ぎょしゃ座のカペラになります。なお、見やすいのは、火星の高さが高くなる20時以降になります。

14日(水)、ふたご座流星群が極大となる

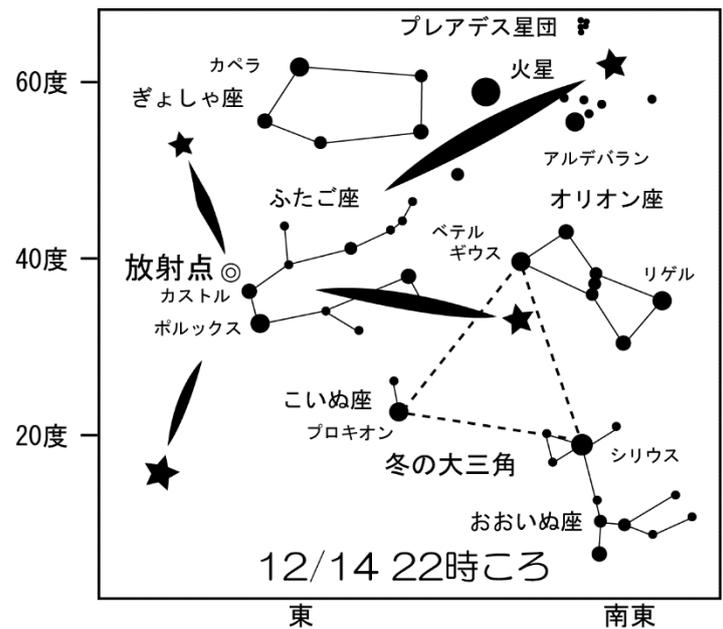
流星群の流星は、地球から見ると、ある地点から放射状に流れるように見えます。その流れ出す地点(放射点(ほうしやてん))のある場所をとって、何々座流星群と呼びます。今回はふたご座流星群ですので、ふたご座の方向から全天に流れていきます。

ふたご座流星群は、ほぼ一晩中見られ、見やすい流星群となっています。今年の極大は、14日(水)の22時ころに予想がでています。よって、14日(水)の深夜~15日(木)の明け方が多く見えるでしょう。

14日の夜は、22時半ころに下弦の月が昇ります。ただ、夜半までは高さが低いので、影響はそれほどないでしょう。ただし、15日に日付が変わるころは、月が高くなるので、14日の夜半までが多く見られるでしょう。

この条件でみると、松山市内では1時間あたり10~20個程度。空の暗い郊外では、1時間あたり50個程度の流れ星が見られるでしょう。よく見える時間は、14日の22時ころから24時ころです。

見る方向は、真夜中まではおおよそ東の空、真夜中以降は南の空を見ればよいでしょう。ちなみに、極大後の15日(木)の深夜も月の条件が良くなり、ある程度の流星が見られるでしょう。



25日(日)、夕方の南西の低い空で、月と金星と水星が並んで輝く

25日(日)の夕方、17時30分ころ、南西の低い空に、大変細い月が輝きます。その後、空が暗くなるにつれ、見やすくなりますが、月の高さが低くなります。そして、月の右下に金星が見えてくるでしょう。また、天気にも恵まれれば、月と金星の間に、水星が見えるかもしれません。

ただし、水星は普通の1等星くらいの明るさですので、肉眼では見つけにくいでしょう。こんな時は、小さな双眼鏡があれば見やすくなります。

金星の高さがたいへん低いので、南西方向に障害物がないところでご覧ください。観察のできる時間は、17時50分ころから、18時すぎの短い時間に限られます。ただし、月と金星のみは明るいので、17時30分すぎから見えてくるでしょう。

